







# 安全上のご注意




- ご使用になる前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
- ここに示した注意事項は安全に関する重大な内容を記載していますので、必ず守ってください。
- お読みになったあとは、お使いになる方がいつでも見られるところに、必ず保存してください。

 <b>警告</b>	誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示します。
 <b>注意</b>	誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性および物的損害の発生が想定される内容を示します。 (物的損害とは、家屋・家財・家畜・ペットなどにかかる拡大損害を示します。)

## 図記号の意味と例

	❯は、「してはいけないこと」を意味しています。具体的な禁止内容は、❯の中や近くに絵や文章で示しています。(左図の場合は、「分解禁止」を示します。)
	●は「必ずすること」を意味しています。具体的な強制内容は、●の中や近くに絵や文章で示しています。(左図の場合は、「必ず実行すること・強制」を示します。)

# 警告

 禁止	乳幼児だけで使わせたり、手の届くところでは使わない。 けがの原因になります。	 指示	正しく組み立ててから使用する。 組み立て途中で使用を開始したり、パーツのみで使用すると、故障・けがの原因になります。
	本体のすき間にピンや針金などの金属物、異物を入れない。 けがの原因になります。	 分解禁止	お手入れ以上の分解をしない。また、修理技術者以外の人 は修理しない。 けがの原因になります。修理は販売店にご相談ください。
	湿度の高いところ、火気があるところ、直射日光があたるところで 使用・保存はしない。 故障や変形の原因になります。		

# ⚠ 注意

 接触禁止	刃やスパイクには直接ふれない。 けがの原因となります。	専用の製氷カップでつくった氷や市販の製氷皿でつくった パラ氷、冷凍フルーツ以外のものを氷ケースに入れない。 破損、故障の原因になります。
 指示	水分や振動に強い、水平で安定したテーブルなどの上で使用 する。 故障の原因になります。	製氷カップを加熱したり、電子レンジに入れたりしない。 破損の原因になります。
 指示	使用しないときは、十分に乾燥させ、刃の部分に軽く食用 油を塗って、湿度の少ないところへ保存する。 サビの発生や、カビが繁殖する原因になります。	製氷カップや本体以外の水洗いできる部分は、40℃以上 のお湯で洗わない。食器洗浄機、食器乾燥機を使用しない。 変形、変色、破損の原因になります。
 指示	準備するとき、使用するとき、指などはさまないように注 意する。 けがの原因になります。	高いところから落とすなど、強い衝撃を与えない。 感電、けが、破損、故障の原因になります。
 禁止	使用中にスタンドから本体を取りはずしたりしない。 けがや故障の原因になります。	 禁止
 禁止	変形や破損のあるときは、使用しない。 けがの原因になります。	お手入れのときは住宅用洗剤・シンナー・ベンジン・アル コール・磨き粉・金属たわしなどを使わない。 変色・変形の原因になります。
 禁止	本体を水につけたり、水洗いしない。 本体は防水されていないため、水が入るとサビや故障の原 因になります。	調節ダイヤルを回すときにカチカチ音がしたらそれ以上 は回さない。 故障の原因になります。
 禁止	業務用に使用しない。調理目的以外の使いかたはしない。 家庭用として設計されているため、業務用としては使用しな ない。	冷凍庫から出した氷を素手でふれない。 氷に皮膚が貼りついて、皮膚がはがれるなど、けがの原因 になります。
 禁止	不安定な場所や傾いた場所、高い場所、乳幼児やペットの 走り回る場所には置かない。 落下して故障や破損の原因になります。	市販のかたい氷は使用しない。 破損や故障の原因になります。
 禁止	氷を入れた状態で本体を倒したり、さかさまに持ったり、置 いたりしない。 本体に水が入り、感電、故障の原因になります。	

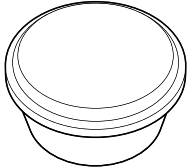
# 各部の名称とはたらき



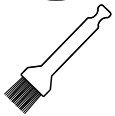
**注意** 取りはずしつまみを持って、持ち運びしない。  
スタンドがはずれて破損の原因となります。

ハンドル部・ハンドル固定ネジは取りはずすことができません。  
収納のときは、取っ手を折りたたみます。

## 付属品

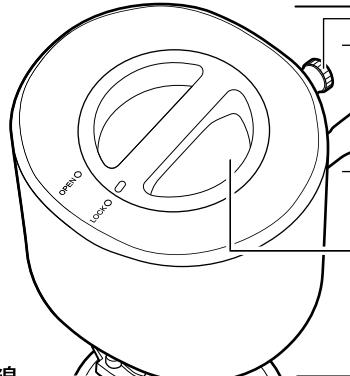


ふた付き製氷  
カップ  
Mサイズ(2個)



ブラシ

氷線  
(入れるバラ氷などの上限)



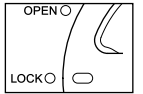
ハンドル固定ネジ

ハンドル部

取っ手

本体

取りはずしつまみ  
スタンドから本体を  
取りはずすときに  
回転させます

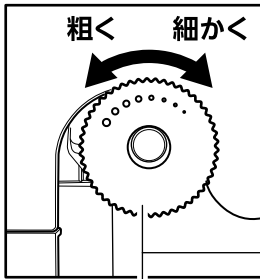


スパイクベース  
インナーリング  
(取りはずすことができます)

刃

前面

氷ケース



調節ダイヤル

調節ダイヤル軸

収納用ストッパー

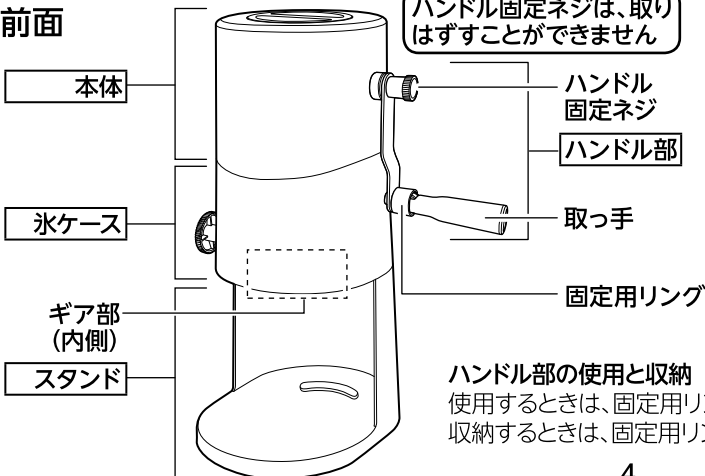
スタンド



**注意** 調節ダイヤル軸に負荷がかかる  
ような使いかたはしない。  
破損、故障の原因になります。

トレー

前面



本体

氷ケース

ギア部  
(内側)

スタンド

ハンドル固定ネジは、取り  
はずすことができません

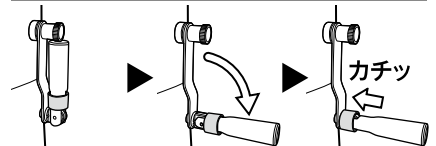
ハンドル  
固定ネジ

ハンドル部

取っ手

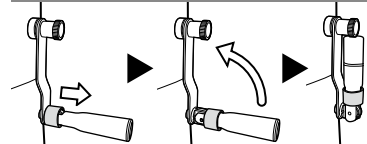
固定用リング

ハンドル部 (取っ手) を使用する



カチッ

ハンドル部 (取っ手) を折りたたむ



ハンドル部の使用と収納

使用するとき、固定用リングを取っ手根本まで移動させて固定させてください。  
収納するときは、固定用リングの移動で折りたたむことができます。

# 準備

## 初めて使用する前に

### 1. 製品をお手入れする

「お手入れと保存」(11~13ページ)を参考に一度すべて分解し水洗いして十分に乾かします。



**警告** 本体は絶対に水につけない。  
故障の原因になります。

### 《氷をつくるときは》

#### 1. 付属のふた付き製氷カップを十分に洗う

初めて製氷カップを使用するときは、十分に洗ってください。



**注意** 製氷カップを洗うときは、食器洗浄機、食器乾燥機を使用しない。  
変形などの原因になります。

#### 2. 水を製氷カップの約8分目まで入れ、ふたをして冷凍庫に入れる

製氷カップに約8分目程度水を入れ、ふたをして冷凍庫に入れてください。

- ・氷の厚みが増すことで、本体を取り付ける際にスパイクベース部分のバネの抵抗が強くなり、取り付けにくくなります。
- ・製氷カップは安定するように平置きで冷凍庫に入れてください。
- ・斜めに凍らせた氷を本体に取り付けると、スパイクベースに負荷が掛かって破損する場合があります。
- ・積み上げて製氷すると倒れる可能性があります。



**注意** 製氷カップに水を入れすぎない。  
製氷カップ破損の原因になります。

### 《プリン氷をつくるときは》



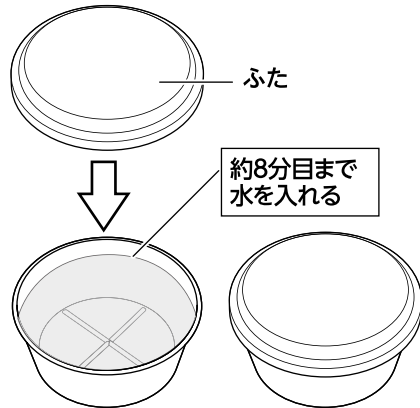
**注意** プリンは卵、牛乳、砂糖を使用した洋菓子のことを指します。  
市販のプリンの中には、ゼラチン、寒天、増粘多糖類を使用している製品があり、それらの量によっては、スパイクが空回りし、削れない場合があります。  
アラモード、スポンジケーキなどプリンの中に、かたい固形物や、粘り気の強いものが使用されていないことを確認の上、凍らせてください。

#### 1. プリンを製氷カップの約8分目まで入れ、ふたをして冷凍庫に入れる

スプーンですくったプリンを製氷カップに約8分目程度まで入れて、スプーンの皿裏で表面を平らにしてふたをして冷凍庫に入れてください。表面が斜めになったりするときれいに削れません。



**注意** 製氷カップにプリンを入れすぎない。  
製氷カップ破損の原因になります。



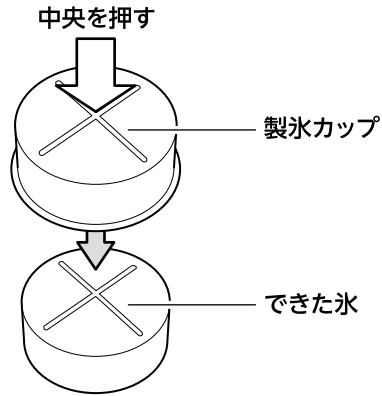
※ 水・プリン以外のものを氷にするときは、付属のレシピをご参照ください。

# 準備 (つづき)

## 2. 水・プリンが凍ったことを確認したら、ふたをはずして氷を取り出す

使用するときには、ふたをはずして製氷カップの底面を押して、氷を取り出します。

・氷が取り出しにくいときは、しばらく自然解凍させると取り出しやすくなります。



### ⚠️注意

- ・冷凍庫から取り出したばかりの氷に直接ふれない。  
皮膚が氷に密着し、けがの原因になります。
- ・氷を製氷カップから取り出すときはたたきつけたりしない。  
製氷カップの破損の原因になります。
- ・できた氷はできるだけはやく使用する。  
氷をストックしておくことができますが、時間が経過すると霜が付き、かき氷に適した氷ではなくなります。

# 正しい使いかた

## 調理準備

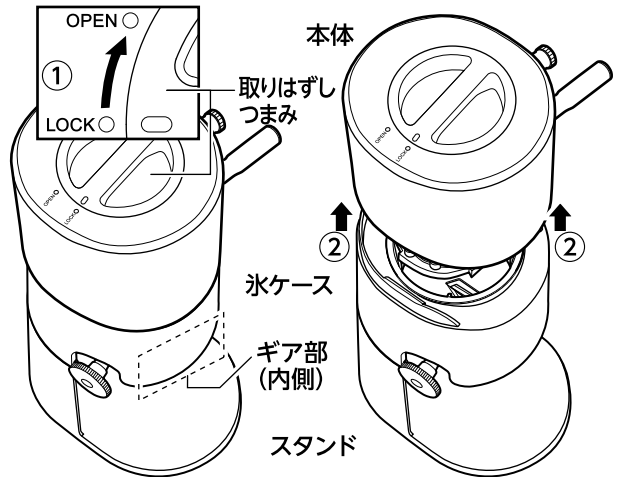
### ⚠️注意

- ・テーブルや机以外の場所で使用しない。
- ・乳幼児だけで使わせたり、手の届くところで使用しない。

## 1. 水平で安定した場所に設置し、氷ケースから本体をはずす

最上部の取りはずしつまみを回して①、氷ケース・スタンドをしっかりと押さえて、氷ケースから本体を取りはずしてください②。

氷ケースがスタンドにしっかりとのっていることを確認してください。

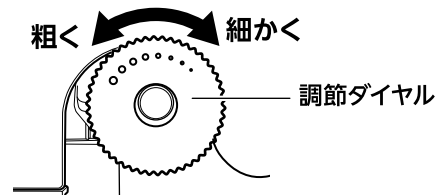


## 2. 刃の高さ調節ダイヤルを回して最も細かい設定にする

右図のように、氷ケース左にある刃の高さ調節ダイヤルを時計回りに回して、前もって最も細かい設定にしておきます。

調節ダイヤルは無段階調節になっています(細かく、粗くの2段階切り替えではありません)。細かくの方めいっぱい(かたさを感じるところ)から、粗くの方めいっぱい(かたさを感じるところ)まで、調節範囲があります。

氷の削れ具合を見て調節しながら削ってください。



### ⚠️注意

- ・刃やスパイクベースにはふれない。  
鋭利なため、けがの原因になります。
- ・ギア部にはふれない。  
指をはさむなど、けがの原因になります。

## 材料投入

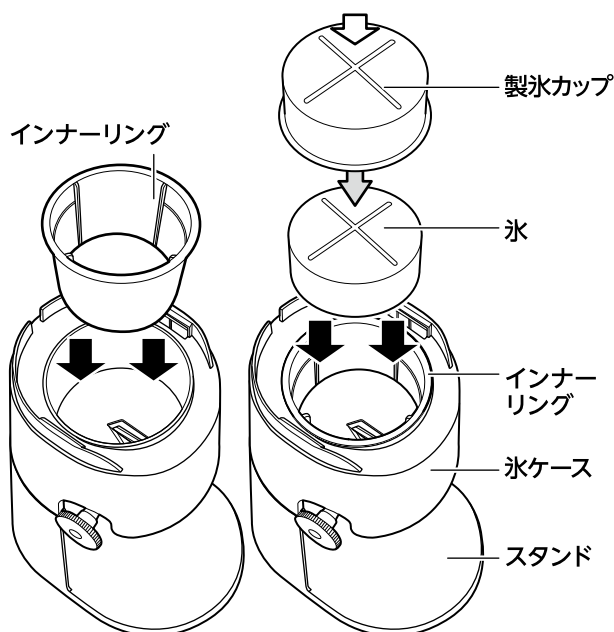
それぞれ削る材料によって以下のように材料を氷ケースのインナーリング内に入れてください。

### 製氷カップの氷

#### 3. 氷ケース内側にインナーリングを取り付け、製氷カップでつくった氷の平らな面を下にして氷ケースに入れる

氷ケースに必ずインナーリングを取り付け、付属の製氷カップでつくった氷を氷ケースに入れてください。

氷ケース内で、できるだけ表面を平らにします。



#### ⚠️ 注意

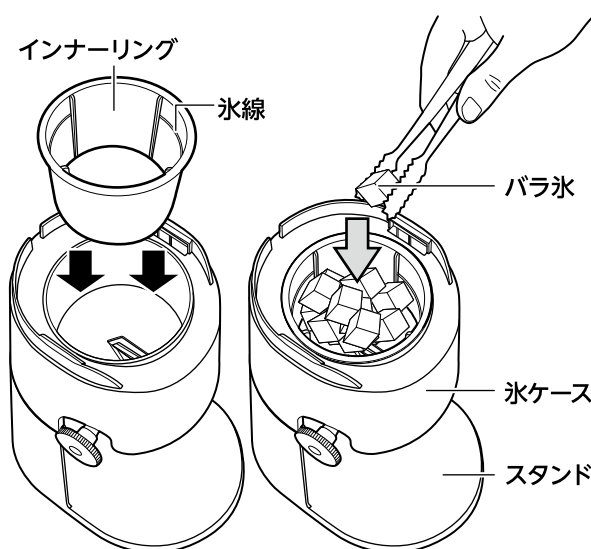
- 専用の製氷カップでつくった氷以外は使用しない。
- 製氷カップに水を入れすぎない。製氷カップ破損の原因になります。
- 氷を製氷カップから取り出すときはたたきつけたりしない。破損の原因となります。
- インナーリングを必ず取り付けて使用する。インナーリングを使用しないと正しく削れませんので必ず使用してください。

### バラ氷

#### 3. 氷ケース内側にインナーリングを取り付け、製氷皿でつくったバラ氷をインナーリング内側の氷線以下で氷ケースに入れる

氷ケースに必ずインナーリングを取り付け、バラ氷（市販の製氷皿でつくった氷もしくは自動製氷機能付冷蔵庫でつくった氷）をインナーリングの氷線を超えないように入れてください。

氷ケース内で、できるだけ表面を平らにします。



#### ⚠️ 注意

- 市販されているかたい氷、大きな氷は使用しない。破損の原因になります。
- インナーリングの氷線を超えて氷を入れない。本体を取り付けることができなくなります。
- インナーリングを必ず取り付けて使用する。インナーリングを使用しないと正しく削れませんので必ず使用してください。

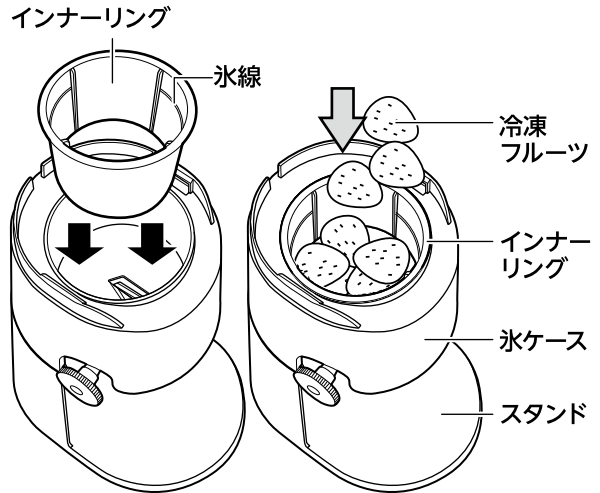
# 正しい使いかた(つづき)

## 冷凍フルーツ

### 3. 氷ケース内側にインナーリングを取り付け、市販されている冷凍フルーツを氷ケースに入れる

氷ケースに必ずインナーリングを取り付け、氷ケース底面が見えにくくなるまで冷凍フルーツをまんべんなく入れてください。

氷ケース内で、できるだけ表面を平らにします。



#### ⚠️注意

- 冷凍フルーツは市販されている一口大サイズを削る。
- みかんがまるごと冷凍されているものは使用しない。
- 厚い皮がついたままのフルーツは使用しない。
- 冷凍フルーツは少量で使用しない。スパイクが空回りして削れない場合があります。
- インナーリングを必ず取り付けて使用する。インナーリングを使用しないと正しく削れませんので必ず使用してください。
- インナーリングの氷線を超えて冷凍フルーツを入れない。本体を取り付けることができなくなります。

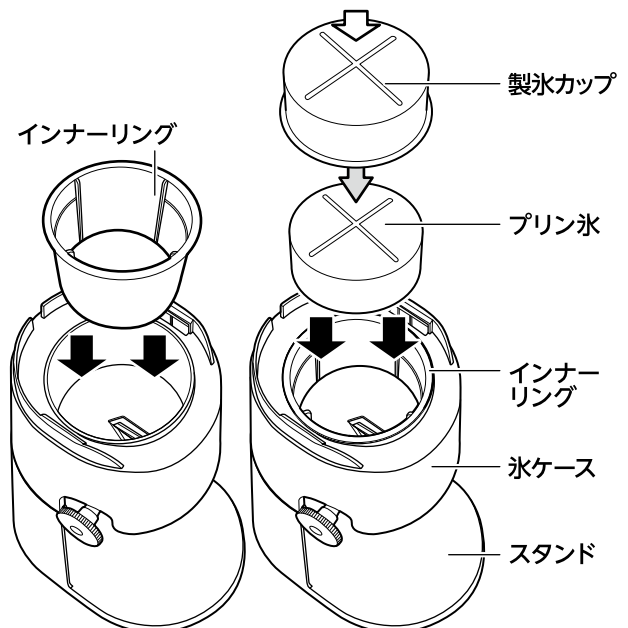
## プリン氷

(プリン氷の作りかたは、5ページ参照)

### 3. 氷ケース内側にインナーリングを取り付け、製氷カップでつくったプリン氷の平らな面を下にして氷ケースに入れる

氷ケースに必ずインナーリングを取り付け、付属の製氷カップでつくったプリン氷を氷ケースに入れてください。

氷ケース内で、できるだけ表面を平らにします。



#### ⚠️注意

- 専用の製氷カップでつくった氷以外は使用しない。
- 製氷カップにプリンを入れすぎない。製氷カップ破損の原因になります。
- 氷を製氷カップから取り出すときはたたきつけない。破損のおそれがあります。
- インナーリングを必ず取り付けて使用する。インナーリングを使用しないと正しく削れませんので必ず使用してください。



## 調理をする

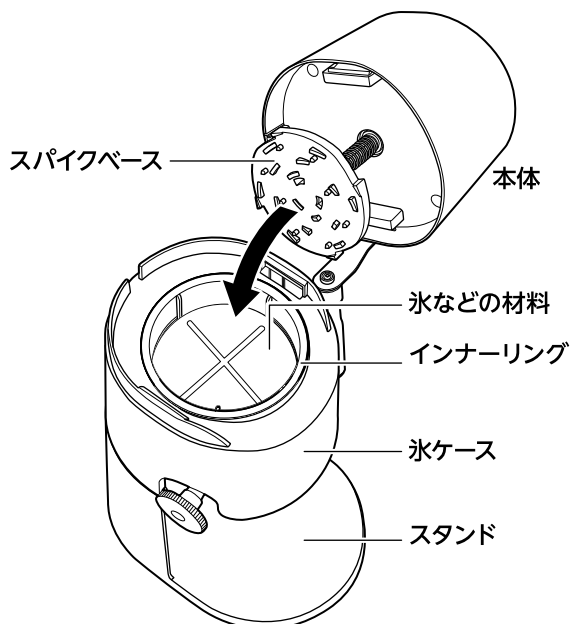
### 4. スパイクベースで氷などの材料を押さえつけるように本体を氷ケースに取り付ける

氷ケース内で、できるだけ氷などの材料の表面を平らにしたうえで本体を取り付けるようにします。

※ 特に水以外の氷を入れたときは、氷が比較的柔らかくスパイクベースのところで空回りすることもあるため、本体を取り付けるとき、スパイクベースを氷、プリン氷または冷凍フルーツに食い込ませる感覚で取り付けてください。

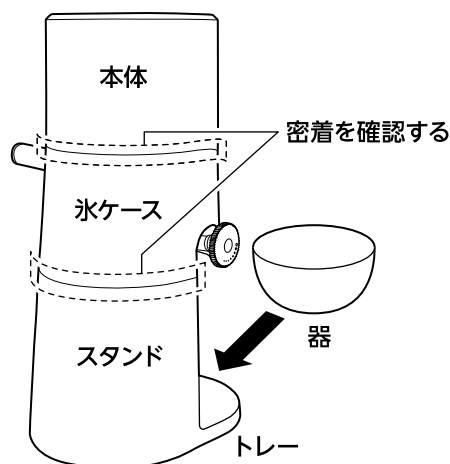
取り付けづらいときは、本体を氷ケースに押し込んで、本体と氷ケースがしっかり取り付けられていることを確認ください。

※ スパイクベースは回転軸に確実に固定されていることを確認してください。



### 5. 本体と氷ケース、スタンドがぴったり接合されていることを確認し、スタンドのトレー部分に器を用意する

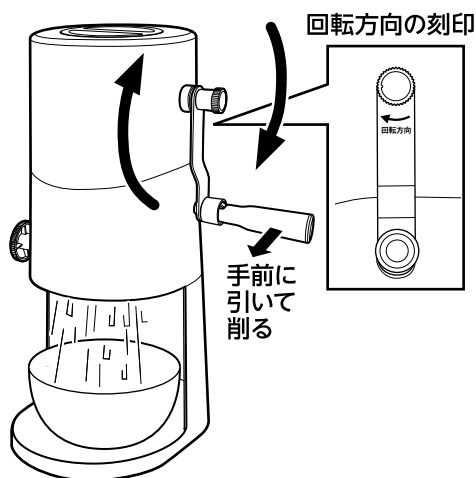
本体と氷ケースが密着しない場合、氷ケース内に入れたものの量を調節してください。



### 6. ハンドル部の取っ手を持ち、右方向(時計回り)に回して調理をする

トレーの上に削れた氷を受ける器があることを確認し、取っ手を右方向(時計回り)に回すと氷が削れるようになります。

- ハンドルにある「回転方向の刻印」の←方向に回してください。
- 反対側《左方向(反時計回り)》に回しても氷は削れません(空回りします)。
- 調理中、氷ケースに入れたものによっては、本体が大きく動く場合がありますので、上から押さえつけるようにしてください。
- ハンドルの固定用リングが根元で固定されていることを確認ください。



**注意** 水平で安定したテーブルなどの上で使用する。

- 器にかたよって調理されたときは、器を回転させてください。

# 正しい使いかた(つづき)

## ふわふわとろとろに削る方法

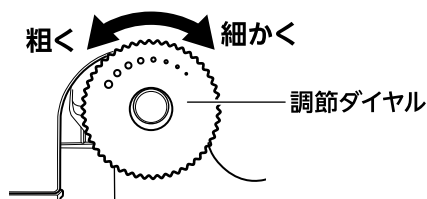
できあがりの細かさ・粗さを調節できます。

- ①刃の高さ調節ダイヤルを【細かく】の方へ止まるところ(かたさを感じる場所)まで回します。  
(刃が一番低い状態になり、氷は削れない場合があります。)カチカチ音は【細かく】の最後まで回した状態です。
- ②ハンドルの取っ手を回して、氷を回転させます。
- ③調節ダイヤルをゆっくりと反時計回り【粗く】に回してください。  
氷が削れ始めたあたりは削れる量が少なく不安定なため、もう少し粗く削ります。
- ④刃が少しずつ高く上がっていき、氷の下側に刃が届き始めたあたりで削れ始めます。  
調節ダイヤルを回しすぎるとカチカチと音がしますが故障ではありません。  
カチカチ音がしたらそれ以上は回さないでください。
- ⑤削っていると氷の厚みが薄くなったり、振動や刃が氷に押されるなどすることで、空回りしたり削れ方が変わりますので、氷の粗さを見ながら都度微調節を行ってください。

### ⚠注意

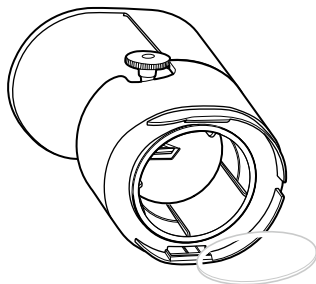
- ・カチカチ音がした状態で回し続けると調節ダイヤルの破損や故障の原因になります。
- ・カチカチ音は【細かく】【粗く】の最後まで回した状態です。

- ※一定の位置では削れない場合があります。
- ※氷の状態により削り具合は変化しますので、必要に応じてこまめに調節ダイヤルの調節を行ってください。
- ※アルコールを含んだ氷を削らないでください。
- ※周囲に削れた氷が飛び散るので、口径の小さい器に氷を削るときは、ぬれても良い場所か、器の下にふきんなどを敷いて削ってください。
- ※調節ダイヤルを強く回しすぎると、回らなくなることがあります。



## 7. 削れなくなったら、回転させるのをやめて、氷ケースに残った氷、プリン氷または冷凍フルーツを取り除く

スパイクベースと刃があたらないような構造になっているため、氷ケース内に氷、プリン氷または冷凍フルーツが残りますが故障ではありません。



続けて氷を削るときは、氷ケース内に残っている氷、プリン氷または冷凍フルーツは、必ず取り除いてください。残ったまま新しい氷、プリン氷または冷凍フルーツを入れると空回りして削れません。

※使用後は、本体に付着した水が垂れることがあります。ふきんなどの上において水切りをしてください。

## 調理が終わったら

### 8. 調理を終えたら、お手入れをする

氷を削り終えたら、本体以外を洗って、十分乾燥させます(「お手入れと保存」11~13ページ)。

### ⚠注意

- ・氷ケースに残った氷、プリン氷または冷凍フルーツを取り除く。
- ・使用後は十分お手入れをして乾燥させる。特に水以外のものを凍らせて削ったときは、そのままにしておくと、すぐにサビやカビなどの発生原因になります。

### ⚠注意

氷ケースに残った氷、プリン氷または冷凍フルーツを取り除く。  
残ったまま新しい氷、プリン氷または冷凍フルーツを入れると空回りして削れません。

# お手入れと保存



お手入れのときは住宅用洗剤・シンナー・ベンジン・アルコール・磨き粉・金属たわしなどを使わない。  
変形、変色の原因になります。

特に水以外のものでも氷をつくったときは、早めに念入りにお手入れをしてください。

## 本体をお手入れする



本体は絶対に水につけない。  
故障の原因になります。

本体以外は、すべて水洗いすることができます。

1. ハンドル部 (取っ手) を折りたたむ
2. 最上部の取りはずしつまみを回し、氷ケース・スタンドをしっかりと押さえて、本体を取りはずす

OPEN側に回して取りはずします。

3. 本体からスパイクベースをはずす

平らな場所に、本体の取りはずしつまみ側を下に置き、ハンドル部を押さえます①。

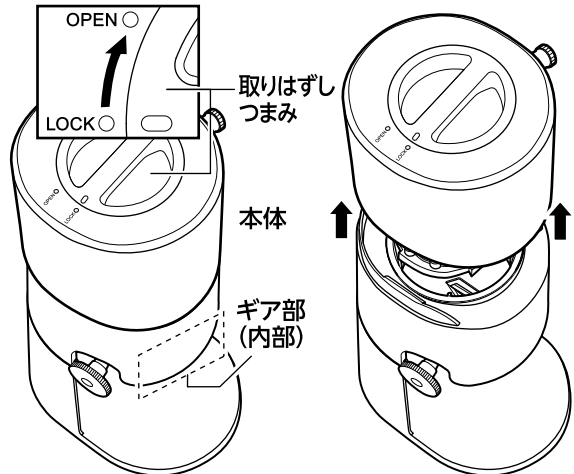
スパイクベース裏側を見て十分気をつけ、スパイクベースを (上から見て) 左方向 (反時計回り) に回し②、取りはずしてください③。

※ハンドル部を押さえないと、スパイクベースが回転してしまい、取りはずすことができません。

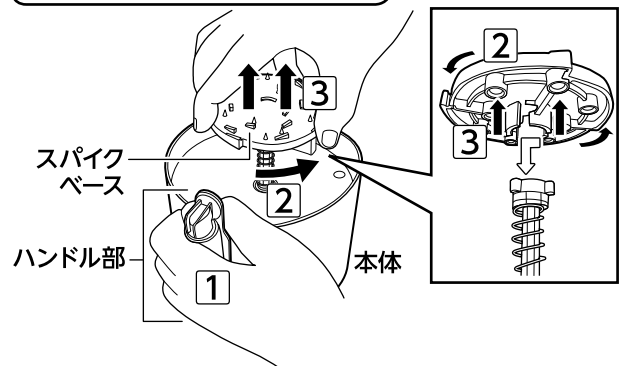
4. 本体を乾いたふきんで拭く

スパイクベースの上の部分など、水気が残らないように拭き取ってください。

汚れがひどいときは洗剤を含ませたふきんをしっかりしぼってから使用して、汚れが取れたら、乾いたふきんでから拭きしてください。



## スパイクベースの取りはずし

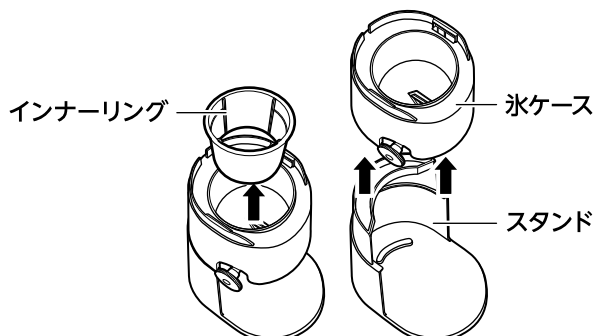


## 本体以外をお手入れする

本体以外は、すべて水洗いすることができます。

5. 氷ケースからインナーリングをはずし、スタンドから氷ケースを取りはずす

氷ケースを取りはずすときは、スタンドを押さえながら氷ケースを持ち上げるようにして、氷ケースを取りはずします。



# お手入れと保存(つづき)

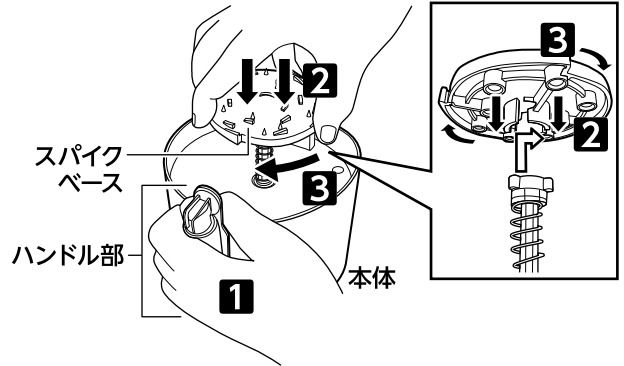
## 6. 取りはずしたスパイクベース、スタンド、氷ケース、インナーリング、製氷カップ、すべて水洗いをする

本体以外すべて水洗いをしてください。  
汚れがひどいときは、ぬるま湯でうすめた食器用洗剤を使用して必ずきれいに洗ってください。



- 刃やスパイク部にはふれない。鋭利なため、けがをすることがあります。
- 氷ケースの刃の部分は分解しない。
- ギア部にはふれない。指をはさむなど、けがの原因になります。

### スパイクベースの取り付け



## 7. 水洗いしたあと、十分に乾燥させて、元通り組み立てて保存する

刃の部分については、「刃の部分のお手入れ」をご覧ください。

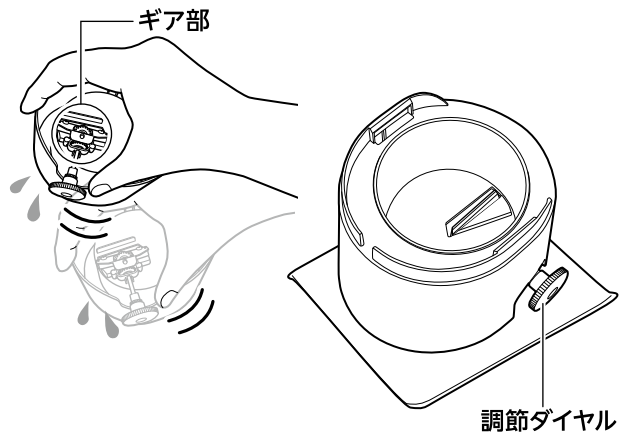
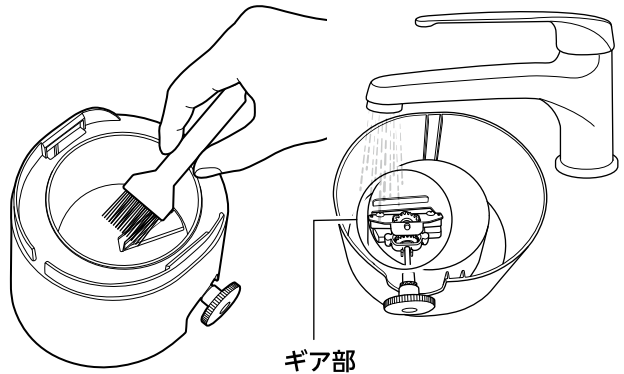
### 刃の部分のお手入れ

#### 1. 刃には直接手をふれないように付属のブラシを使ってお手入れをする

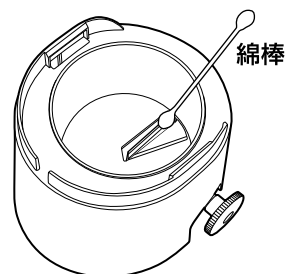
- 氷ケースのギア部を上側にして水洗いをします。
- ギア部を上側にして氷ケースを振って水気を飛ばし、綿棒を使用して水気が残らないように拭き取ります。
- 調節ダイヤルを下側にしてふきんなどの上に置いて完全に乾かしてください。

#### 2. 乾かしたあと、刃に綿棒などで食用油を塗って保存する

サビ防止のため、刃に食用油を塗っておきます。  
※ 十分にお手入れをして乾燥させないと、サビやカビが発生します。



- 刃やスパイク部にはふれない。鋭利なため、けがをすることがあります。



## 長期保存のしかた

お手入れをして、十分乾燥させてから、ホコリが付かないようにポリ袋へ入れて湿気のないところへ保存してください。

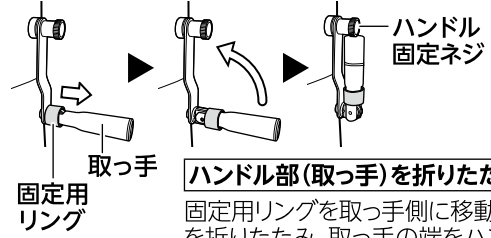
※ ハンドル部の取っ手は固定用リングを移動させて折りたたむことができます。

スタンドから本体+氷ケース部分はずし、スタンドの収納用ストッパーに引っ掛けるようにトレー部にのせることでコンパクトに収納してください。

※ 十分にお手入れをして乾燥させないと、サビやカビが発生します。

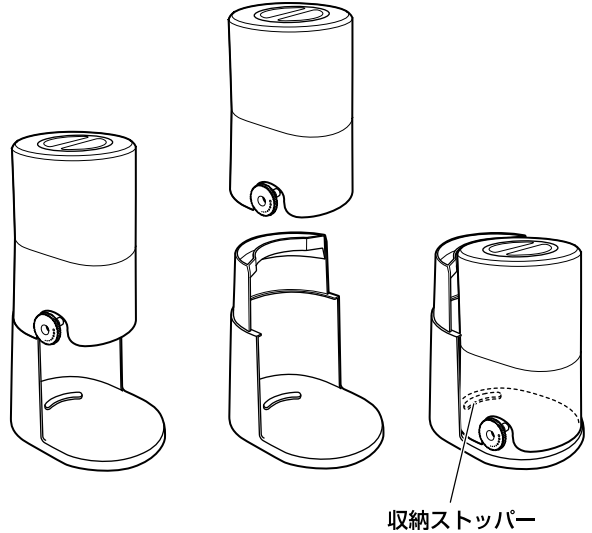


**ハンドル部は取りはずせません。**  
ハンドル部は、固定用リングの移動で折りたたんで収納してください。



### ハンドル部(取っ手)を折りたたむ

固定用リングを取っ手側に移動させ、取っ手を折りたたみ、取っ手の端をハンドル固定ネジ部分に押し付けて固定させてください。



# 修理・サービスを依頼する前に

**⚠警告** 修理技術者以外の方は分解したり修理をしない。

「故障かな?」と思ったときには次の点をお調べください。

症状	主な原因	処置
氷が削れない	氷が氷ケースに入っていますか。	氷を氷ケースに入れてください。
	ハンドルを逆方向に回していませんか。	ハンドルは右方向(時計回り)に回してください。
	氷ケース内に削れずに残った氷などが入っていませんか。	氷などを取り除いてください。
	スパイクベースが空回りしていませんか。	一度本体を氷ケースからはずして、再度本体を取り付け直してください。
	インナーリングが氷ケースに取り付けられていますか。	インナーリングを氷ケースに取り付けてください。
	糖分が多く、柔らかい氷のためスパイクベースが空回りしていませんか。	糖分を減らした氷に変更してください。
	刃が出すぎた状態(粗い削り)になっていて回らない状態(氷がロックしている)になっていませんか。	刃の高さを調節ダイヤルで一番細かい設定にして、少しずつ粗い削り方向へ調節してください。
	刃が出ていない状態(刃が氷に届かずから回り)になっていませんか。	刃の高さを調節ダイヤルで、少しずつ粗い削り方向へ調節してください。
冷凍フルーツが削れない	冷凍フルーツの量が少なくなっていますか。	氷ケースの底面を埋めるように入れる量を増やしてください。
	冷凍フルーツのサイズが大きすぎませんか。	冷凍フルーツは市販されている一口大サイズのものを使用してください。
	スパイクベースが空回りしていませんか。	一度本体を氷ケースからはずして、再度本体を取り付け直してください。
ふわふわに削れない	刃の高さ調節をしていますか。	調節ダイヤルでこまめに刃の高さ調節してください。
氷を削るスピードが遅い	氷が少なくなったり、氷が斜めになっていませんか。	氷を裏返しにしてください。
	氷がかたい状態になっていませんか。	氷を常温で放置し、少し溶かしてから削ってください。

症状	主な原因	処置
氷または冷凍フルーツが空回りしてしまう	氷ケースの刃の隙間・溝部分に削った氷が詰まっていますか。	氷ケースを取り出して確認する。詰まっていたら、ブラシを使って水道水で洗い流してください。
	調節ダイヤルを細かくの方向へ回しすぎていませんか。	氷が削れる高さまで粗くの方向へ回し、氷を回転させながら、こまめに刃の高さを調節してください。
削った氷が奥側に削れる	氷の種類、削り方により奥側に削れる場合があります。	器の場所を調節してください。

## お客様サポート

<https://www.do-cooking.com/support/>



お電話でのお問い合わせはお待ちさせる場合がございます。また、お客様相談室より担当部署におつなぎいたしますので調べまでにお時間を頂戴しております。インターネットをご利用頂いた方が早くご案内できますので、インターネット環境をお持ちのお客様は上記QRコードもしくは、URLからご利用ください。

製品情報に関するお問い合わせ

よくあるご質問

製品・パーツ購入のご案内

※製品によっては、パーツ販売をしておりません。

お客様の声(アンケート)

### 【電話でのお問い合わせ】

このたびは、弊社製品をお買い上げいただきまして、まことにありがとうございます。品質には万全を期しておりますが、万一不具合や、お気付きの点がございましたら、ご使用にならずに、弊社お客様相談室までご連絡ください。

 株式会社ドウシシャ [www.doshisha.co.jp](http://www.doshisha.co.jp)

お客様相談室 0120-104-481

【受付時間 9:00~17:00 祝日以外の月~金】

※製品、型番をご確認の上、お電話を頂きますようお願い致します。  
※お電話を頂いた際にお話し頂く情報は、お客様へのアフターサービスにおいて利用させていただきますので、ご了承ください。

### 【修理品の送付先】

〒915-0801 福井県越前市家久町41-1

株式会社ドウシシャ 福井カスタマーセンター